



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月10日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務統括部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03 (6891) 3730
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	12,103	42.6	5,095	168.5	4,983	161.4	3,266	168.1
2018年12月期第1四半期	8,489	48.2	1,897	—	1,906	—	1,218	—

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 3,428百万円 (254.8%) 2018年12月期第1四半期 966百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	295.26	—
2018年12月期第1四半期	110.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	72,983	45,474	53.8	3,547.87
2018年12月期	73,598	42,734	49.7	3,303.04

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 39,252百万円 2018年12月期 36,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	28,100	41.9	10,500	87.8	10,400	83.1	7,000	87.7	632.78
通期	56,500	17.7	19,700	20.1	19,600	18.7	13,100	27.3	1,184.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	11,832,504株	2018年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	768,873株	2018年12月期	770,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	11,062,601株	2018年12月期 1 Q	11,043,444株

※ 四半期決算短信は監査法人による四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産活動に弱さがみられたものの緩やかな回復基調で推移しました。

世界経済は、米国では、景気減速懸念はあるものの設備投資や個人消費を背景に堅調さが維持されています。一方、中国では、貿易摩擦や内需鈍化などの影響により景気減速感がみられ、欧州では、停滞感が示されています。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は、堅調な鋼材需要を背景に総じて底堅く、半導体関連産業は調整局面を迎えています。当社グループを取り巻く事業環境は、電極製品では、市況等の改善傾向が持続し、ファインカーボン製品等でも、旺盛な需要が持続しました。また、セグメント別事業の最適化や原価低減等の効果も持続しております。

この他、企業市民としてコンプライアンス体制の一層の強化・拡充と、最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高121億3百万円（前年同四半期比42.6%増）、営業利益50億9千5百万円（前年同四半期比168.5%増）、経常利益49億8千3百万円（前年同四半期比161.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益32億6千6百万円（前年同四半期比168.1%増）と増収増益となりました。

なお、セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

電極部門は、電極市場全体として需給の引き締まりが持続し、主要原材料の価格上昇を背景に、売価是正が浸透しています。

ファインカーボン部門は、旺盛な需要を背景に、炭素繊維製品および特殊炭素材料の販売は好調を維持しています。また、リチウムイオン電池負極材は、民生向けが減少しましたが車載向けを中心に底堅さを維持しています。

この結果、売上高は116億4千9百万円（前年同四半期比48.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は49億6千2百万円（前年同四半期比174.7%増）となりました。

(炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維は、納入時期の影響もあり、売上高は1億5千8百万円（前年同四半期比62.9%減）となり、セグメント利益（営業利益）は3千4百万円（前年同四半期比36.5%減）となりましたが、第2工場での稼働は順調に進んでおります。

(その他)

その他の事業は、産業用機械の製造・販売が増加しました。

その結果、売上高は2億9千5百万円（前年同四半期比30.7%増）、セグメント利益（営業利益）は9千3百万円（前年同四半期比153.3%増）と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億1千5百万円減少し、729億8千3百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産の増加23億5百万円がありましたが、現金及び預金の減少25億4千9百万円等により、前連結会計年度末に比べ8億9千1百万円減少し、490億1千7百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の減少3千7百万円等がありましたが、有形固定資産の設備更新等による増加3億3千3百万円等があり、前連結会計年度末に比べ2億7千6百万円増加し、239億6千5百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ33億5千4百万円減少し、275億9百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等の減少31億2千7百万円等により、210億5千5百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少4千7百万円及び退職給付に係る負債の減少4千2百万円等により、64億5千3百万円となりました。

純資産は、配当金の支払5億5千3百万円、その他有価証券評価差額金の減少1千4百万円はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益32億6千6百万円により、前連結会計年度末に比べ27億3千9百万円増加し、454億7千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、現時点において平成31年2月8日に発表いたしました平成31年12月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,747	17,198
受取手形及び売掛金	15,270	14,662
商品及び製品	6,889	8,228
仕掛品	4,351	4,615
原材料及び貯蔵品	3,255	3,956
その他	415	374
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	49,908	49,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,502	15,663
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,300	△9,357
建物及び構築物 (純額)	6,202	6,305
機械及び装置	41,826	42,888
減価償却累計額及び減損損失累計額	△36,859	△37,105
機械及び装置 (純額)	4,966	5,783
車両運搬具及び工具器具備品	3,084	3,125
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,665	△2,706
車両運搬具及び工具器具備品 (純額)	418	419
土地	3,516	3,516
建設仮勘定	1,087	501
有形固定資産合計	16,192	16,526
無形固定資産		
投資その他の資産	202	190
投資有価証券	5,390	5,353
繰延税金資産	402	401
その他	1,510	1,502
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,295	7,248
固定資産合計	23,689	23,965
資産合計	73,598	72,983

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,392	7,371
短期借入金	8,381	8,410
未払法人税等	4,841	1,713
賞与引当金	193	442
役員賞与引当金	125	28
工場移転関連費用引当金	539	539
その他	2,872	2,549
流動負債合計	24,346	21,055
固定負債		
長期借入金	4,867	4,820
繰延税金負債	229	251
退職給付に係る負債	847	804
役員退職慰労引当金	39	39
役員株式給付引当金	50	51
環境対策引当金	28	28
資産除去債務	62	62
その他	391	396
固定負債合計	6,517	6,453
負債合計	30,863	27,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,857	7,857
利益剰余金	21,646	24,359
自己株式	△1,924	△1,920
株主資本合計	34,982	37,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,584	1,570
繰延ヘッジ損益	6	3
為替換算調整勘定	42	39
退職給付に係る調整累計額	△77	△60
その他の包括利益累計額合計	1,556	1,552
非支配株主持分	6,195	6,221
純資産合計	42,734	45,474
負債純資産合計	73,598	72,983

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	8,489	12,103
売上原価	5,467	5,659
売上総利益	3,022	6,444
販売費及び一般管理費	1,124	1,348
営業利益	1,897	5,095
営業外収益		
受取賃貸料	10	5
持分法による投資利益	17	-
その他	40	47
営業外収益合計	68	53
営業外費用		
支払利息	24	23
為替差損	8	9
持分法による投資損失	-	23
固定資産除却損	-	53
その他	26	56
営業外費用合計	59	165
経常利益	1,906	4,983
税金等調整前四半期純利益	1,906	4,983
法人税、住民税及び事業税	283	1,532
法人税等調整額	241	20
法人税等合計	524	1,552
四半期純利益	1,381	3,431
非支配株主に帰属する四半期純利益	163	165
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,218	3,266

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	1,381	3,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△380	△13
繰延ヘッジ損益	-	△2
為替換算調整勘定	△42	△4
退職給付に係る調整額	7	16
その他の包括利益合計	△415	△3
四半期包括利益	966	3,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	818	3,260
非支配株主に係る四半期包括利益	147	167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する株式給付信託 (BBT) 導入)

当社は、取締役の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は128百万円、株式数は42千株、当第1四半期連結会計期間の期中平均株式数は43千株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,835	428	225	8,489	-	8,489
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	-	89	90	△90	-
計	7,835	428	315	8,580	△90	8,489
セグメント利益	1,806	54	36	1,897	-	1,897

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,649	158	295	12,103	-	12,103
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	144	144	△144	-
計	11,649	158	439	12,248	△144	12,103
セグメント利益	4,962	34	93	5,090	5	5,095

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。